

主体的・対話的な環境によるキャリア教育の実践 ～千葉県商工会議所連合会との連携による企業の魅力発表会の取組み～

庄司 一也
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部

キーワード：千葉県商工会議所連合会 企業プレゼン 学生審査 中小企業人材採用

1. はじめに

2021年度 帝京平成大学 千葉キャンパス 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科 キャリア形成科目「キャリアプラン」(表1)内において、千葉県商工会議所連合会との連携によるキャリア教育「企業の魅力発表会」(以下「本講座」とする)を実践した。この取組みは、千葉県商工会議所連合会の主催するリクルーター養成ゼミを受講した千葉県内の優良企業がプレゼンを行い自社の魅力を発信するというものである。そして受講生はそれを一方向的に聴講するだけでなく「受講生が企業を審査する」という従来とは異なるかたちで教育・学習を展開することで有効なキャリア形成支援につながることを期待し実施に至った。さらには企業との交流会の開催など主体的・対話的な学習内容が多数含まれた。

本稿では、上記実践内容を報告するとともに成果を整理し若干の課題を考察する。なお本稿は、拙稿「千葉県商工会議所連合会との連携によるキャリ

ア教育(企業の魅力発表会)の実践と課題」(関西ベンチャー学会 第30回九州研究部会 Zoomによる遠隔開催 2021年8月20日)の発表資料を基に、当日の参加者の意見を踏まえ、図表や写真の追加なども含め内容を大幅に加筆・修正したものである。

2. 本講座の趣旨

本学では以前より千葉県商工会議所連合会との連携授業に取り組んできた。

2020年度の「キャリアプラン」は図1のとおり新型コロナウイルス感染拡大の中、フルオンライン環境で、「企業の魅力発表会」をLMSやPRビデオを利用し実施した。

この際は、オンデマンド配信を採用し、期限内に企業PRビデオを視聴し、WEBアンケートからの審査を実施した。しかしオンデマンド配信に不慣れであった受講生と、教員の説明不足等の理由もあり、視聴数・審査数ともに大きな課題が残った。

科目名	授業内容
キャリアプラン (3年次 通年開講)	就職活動(インターンシップ・本選考等)のための実践的な科目.就職活動に必要な知識・教養・ビジネスマナー等を学ぶ.
インターンシップⅠ (2年次 後期開講)	医療スポーツ系学生を対象に、本格的にインターンシップに参加する前に必要な態度・知識・技能を学ぶ科目.また大学内で完結できる課題解決プロジェクトも実施する.
インターンシップⅡ (3年次 集中講義)	一定の「インターンシップ(就業体験)への参加」を対象に大学の正規授業として単位を付与する科目.

表1 帝京平成大学 健康医療スポーツ学部(千葉キャンパス)
医療スポーツ学科のキャリア形成科目(すべて選択科目)の一部¹

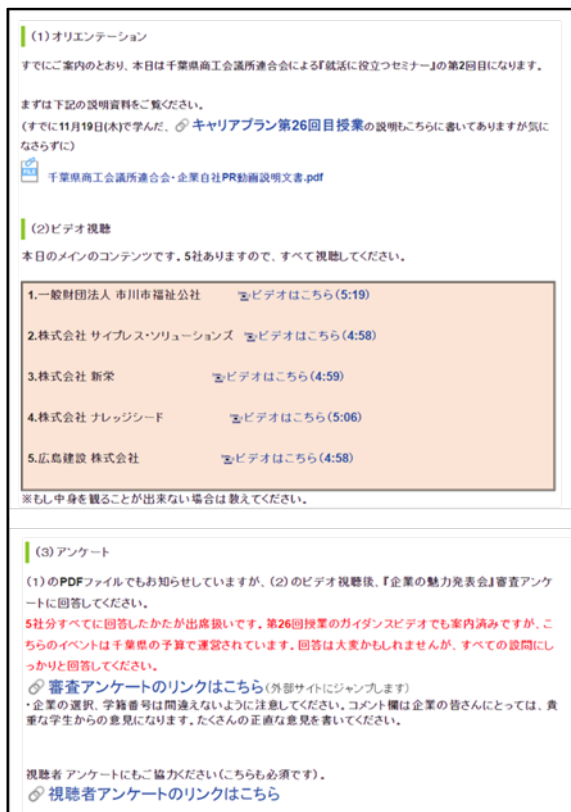


図1 2020年度の「企業の魅力発表会」の取組み
(オンデマンド配信によるフルオンライン開講)

「キャリアプラン」では、表2にあるとおり毎年地域企業や就職支援企業、業界団体、就職支援室などさまざまな機関の協力を得て、キャリア支援講座や業界研究セミナーなどを開講している。しかし講

座内容の質は高いものの受動的な学習環境が中心でそれ自体はもちろん学習効果の高いものであるが、より多くの場面で主体的で対話的な教育・学習を導入したいと考えていた。

本講座では、企業が自社の魅力をプレゼンし、それを学生が一方向的に見聞きして学ぶだけでなく、聴講した内容を基に「学生が企業を審査する」という通常の授業や就職活動とは逆の取組みとなる。そのため主体的な学習環境の下で企業研究・業界研究を進めることになり、キャリア形成支援にも大変有効なものと考えた。

また後述するように、事前セミナーも実施していただくことで、本講座の理解を一層深め教育効果が高まるものと期待できた。

さらに、本講座（企業プレゼン）後、企業との交流会の機会を設けていただいたことで、以前より授業のねらいとしていた外部との接点（交流の機会）を創出することにもなると考えた。

特にこれは筆者のキャリア教育の考えとしては重要で、普段授業において教室内で完結してしまいがちな大学教育を、外部との接点や目上の方との交流、さらには助言や評価をいただくことで、学生の気づきや就労意識を促そうと考えた。

そして本講座は、1日に（90分）複数の企業や社会人と交流を持てることも大きな魅力であった。

前期	後期
第1回 ①(教員)授業オリエンテーション シラバスの説明と授業の進め方の説明 ②B社による講座+B社ナビサイト登録 ③就職支援室による講座	第16回 (教員)後期オリエンテーション
第2回 (就職支援室)就活の今！先輩たちの就職活動を振り返ってみよう！	第17回 (就職支援室)企業研究・業界研究
第3回 A社ナビサイト登録・A社によるキャリア支援講座	第18回 A社による「就活での情報収集」
第4回 (就職支援室)働くって何だろう？ 業界研究、自己分析について知ろう！	第19回 F社による就職講座
第5回 B社によるインターンシップ関係の講座	第20回 (就職支援室)求人票の見方
第6回 (就職支援室)卒業生(H社)から見たインターンシップ	第21回 (就職支援室)企業研究・業界研究
第7回 A社によるインターンシップ準備講座	第22回 A社による「エントリーシート準備講座(特に、学生時代に力を入れたこと)」
第8回 (就職支援室)採用担当者(H社、I社)からみたインターンシップ	第23回 G社によるスーツの着こなし講座 & マナー講座
第9回 C社ナビサイト登録・C社によるキャリア講座	第24回 (教員)ここまでの授業のまとめ+K社担当者によるミニ講話
第10回 (就職支援室)最新の就活方法を知ろう！(WEB会議システムの使い方を学ぶ)	第25回 帝京平成大学 業界研究セミナーに参加
第11回 (教員)夏休み前直前 実践講座	第26回 A社による就活準備講座
第12回 (就職支援室)マナーについて学ぼう！ ①前期の取組み	第27回 D社による講座「隠れた優良中堅・中小企業の探し方」とナビサイトの説明ほか
第13回 千葉県商工会議所連合会による企業PR動画視聴(県内企業9社 事後視聴含む)・審査会	第28回 千葉県商工会議所連合会による就活に役立つセミナー ②事前セミナー
第14回 (教員)卒業生による後輩激励の事前講座+前期振り返り	第29回 千葉県商工会議所連合会による企業の魅力発表会(県内企業6社)と 参画企業との交流会
第15回 卒業生(J社)による後輩激励+前期まとめ	第30回 市原市内のインターンシップマッチング会(県内企業2社) ③本講座 & 授業まとめ(授業最終日)

表2 2021年度「キャリアプラン」授業実績(企業名・講座名等 一部修正済み)²

3. 2021年度前期の取組み

本講座の前に、2021年度前期の2021年7月20日に、「キャリアプラン」内において、同じく千葉県商工会議所連合会の提供する「HATARAKU de ちば（自社PR動画配信サイト）」より企業PRビデオを選定していただき、図2のとおり大学の教室で視聴し、その後学生による審査を行った。

2021年度、本学の授業は対面で開講されていたため、教室スクリーンに企業のPRビデオを投影し視聴した。そして学生はPRビデオ視聴後スマートフォンから審査アンケートに回答した。当日の運営は担当教員のみで対応したが、全9社の視聴・審査を通して早い段階で企業研究と業界研究を進めることができた。



図2 教室スクリーンで企業PRビデオを視聴しスマートフォンで審査・回答をする様子

4. 2021年度後期の取組み

(1) 事前セミナー

本講座（2021年12月16日）の1週間前（2021年12月9日）に、図3のとおり事前セミナーとして千葉県商工会議所連合会によって「企業の魅力発表会 企業プレゼン発表会 審査員事前セミナー『安定した仕事に就く方法』」を開講していただいた。

このセミナーは本講座の理解を一層深めるための準備学習であり、「3C分析」や「モチベーションリソース」などを専門家より教授していただいた。

上述のとおり対象学生が医療・スポーツ系の学生ということもあり、本学のカリキュラムでは通常学ぶことできない内容を指導していただき、わかりやすい表現や解説資料・ワークシート等により、学生の事前理解が大きく深まった。



図3 事前セミナーで講師が解説する様子

一度の講座ではなかなか理解が進まない学生もいるなか、事前にこのように丁寧な指導・解説を行っていただいたことで、前提知識が高まっただけでなく、学習意欲も向上し本セミナーが大きな意味を持つことになった。

そしてこれも筆者がキャリア教育を行う際に意識していることであるが、重要なことは繰り返し丁寧に指導することで学生の理解を一層高め、次の学習に効果的に接続できるように授業全体をデザインしている点とも合致する。

このセミナーに関しても、（大学教員ではなく）外部講師による授業であったため、学生にとっては緊張感や新鮮さがあり、集中して学習に望めたものと考えられる。さらに図4のとおり事前セミナーに対して学生からも高評価であった。

特に、事前セミナーとして学んだこと（「3C分析」や「モチベーションリソース」等）が今後の就職活動で役に立ちそうという好意的・前向きな回答が目立った。さらには同アンケートの自由記述においても好意的・肯定的な意見が目立った。

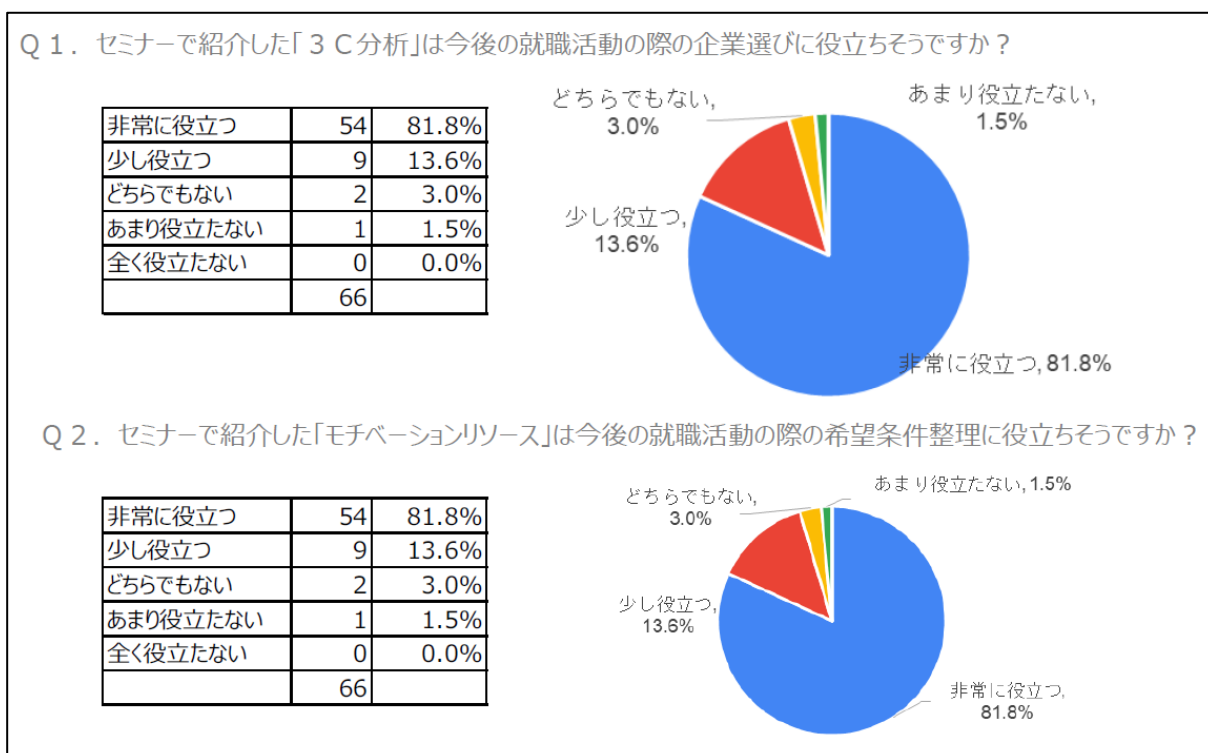


図4 帝京平成大学 就活に役立つセミナー アンケート結果（千葉県商工会議所連合会作成）³

(2) 本講座

本講座は、以下の内容で開講された。

①授業開始・教員説明（授業としての取組み、趣旨等の説明）、②千葉県商工会議所連合会事務局より本講座の説明、③企業プレゼン（1社あたり5分全6社）＋学生による審査、④グループに分かれて企業との交流会（1ターム3～4分×6社分）、⑤クローズおよびアンケートの説明（学生アンケート入力）。

① 授業開始・教員説明

まず担当教員（筆者）より、授業内で本講座を導入した趣旨や背景、ねらい等を説明した。

② 千葉県商工会議所連合会事務局より説明

次に本講座の運営事務局である、千葉県商工会議所連合会事務局より講座概要や趣旨等を説明していただいた。

特にポイントとして、「(1) 参加企業は千葉県内の企業だけであること」、「(2) 審査をするのはあなた」、の2点を説明した上で参加企業の紹介に入った。同

時に参加企業が、千葉県商工会議所連合会主催の「リクルーター養成ゼミ」を受講していて、人材採用や自社の魅力発信方法について学んでいることを説明していただいた。さらには「採用力向上サポートプロジェクト」についても説明していただいた。

また、本講座実施に当たって教育機関とどのように連携し、その連携が千葉県内の中小企業や金融機関・千葉労働局・ハローワーク・千葉県などどのような関係があるのかをわかりやすく説明していただき、学生にとってどのような意味があるのかも解説していただいた。

そして、企業が自社の魅力を発表するだけでなく、その内容をよく聞いて「学生が企業を（本音で）審査する」という普段と立場が逆という学習方法の説明をしていただいた。併せてその後に交流会を実施する旨説明があった。最後に参加者アンケートの協力依頼があった。

③-1 企業プレゼン（1社あたり5分×全6社）

そしてメイン事業である、参加企業6社による企

業プレゼンを実施した。上述の前期授業と異なる点は、前期がPR 動画配信サイトを利用した「ビデオによるプレゼン」であるのに対し、今回は「対面によるプレゼン」を行った点である。なお当日プレゼンを行った6社は表3のとおりである。

発表順	企業名
1	一般財団法人 市川市福祉公社
2	エヌテークアツインズ 株式会社
3	株式会社 すいぱと
4	株式会社 さくら印刷
5	新雪運輸 株式会社
6	社会福祉法人 泉寿会

表3 企業の魅力発表会でプレゼンを行った6社

参加企業6社から表3の順で大教室で図5のようなかたちで5分間のプレゼンを行っていただいた。なお上記6社は、千葉県商工会議所連合会主催のリクルーター養成ゼミを受講しているのでプレゼン内容に期待が持た。



図5 企業プレゼンの様子
(写真は 株式会社 すいぱと)

そして今回のプレゼンは「企業が、どういうメッセージを送れば、自分の会社の魅力を伝えることが出来るのかを半年間の取り組みの中で、考えに考えて作られた内容」となっていた。さらにプレゼン以外に図6のように指定様式で統一された「企業の魅力情報シート」も配布され、視覚的にも企業(社員)の理解が進むように工夫されていた。

図6 企業の魅力情報シート

(写真は 株式会社 さくら印刷)

筆者からみた企業プレゼンの特徴であるが、以下のとおりである。

まず「解説する・話す」のではなく「聞かせる」内容となっている点である。すなわち学生(受講生)主体の内容になっていて、一つひとつの説明を十分に理解できるよう工夫されていた。

そして説明時に難しい表現や用語がなく、スライドの作りもシンプルで写真やデータなども使用して大変わかりやすいということである。今回は介護・福祉業界、IT業界、印刷・メディア業界、運輸・輸送業界と多様な企業・業界からのプレゼンであり、スポーツ科学を学ぶ学生にとってあまりなじみのない企業も含まれた。しかし各企業の前提知識が不足していたり初学者であっても理解できるように、話し方、語句、内容等に留意していただいている様子が多くの場面で見られた。

筆者自身、以前に別の機会に企業説明や業界説明に参加した際に、専門用語や難解な表現、わかりにくい言い回し等で理解が不足したケースがある。本

講座ではそのようなことがないようにプレゼン内容がよく考えられたものになっていた。そしてプレゼンを聞いている学生の多くがいつも以上に真剣に聞いていたのも印象的であった。

「企業の魅力情報シート」も「読ませる」ではなく、「見せる」デザインになっていた。文字情報もあるがそれ以外の画像やイラスト、写真、色使いなどを引くようにデザインされていて、まず見て、そのあとじっくりと読み込む作りに工夫されていた。

言いたいことも明確で、ストーリー性もあるので理解が進みやすかった。そして簡潔な内容（時間も5分）なので、1社1社集中して聞くことができた。

なお、普段の大学教員ではない外部講師（企業の担当者）がプレゼンしているのが新鮮であり緊張感があるという点も重要であった。

③-2 学生による審査

企業によるプレゼン後、図7のように1社ごとに学生によるプレゼン内容の審査を実施した（審査アンケートは表4のとおり）。

今回企業研究、業界研究を進めるにあたり、通常の就職活動とは逆の形になるこの取組みは大変有意義であり、しっかりと聞いていないと企業を評価できないという特徴もあった。

その間、担当教員と千葉県商工会議所連合会事務局スタッフによって教室内を巡回し回答のサポートを行った（アンケート入力促進も兼ねた）。そして適宜質問等も受付けた。



図7 スマートフォンで審査（回答）する様子

④ グループに分かれて企業との交流会

すべての企業プレゼン終了後、参加企業との交流会を実施した。交流会も含めて90分の授業内で完結の予定であった。そのため交流会で全学生が6社すべての企業と時間内で意見交換や質疑応答できるように、グループに分かれて図8の座席表のとおり1ターム3〜4分を6回繰り返した。

その際にスムーズな運営や入れ替えを考え、図9のとおり企業側（担当者）が教室内を回って学生はそのまま座席で参加するスタイルを採用した。

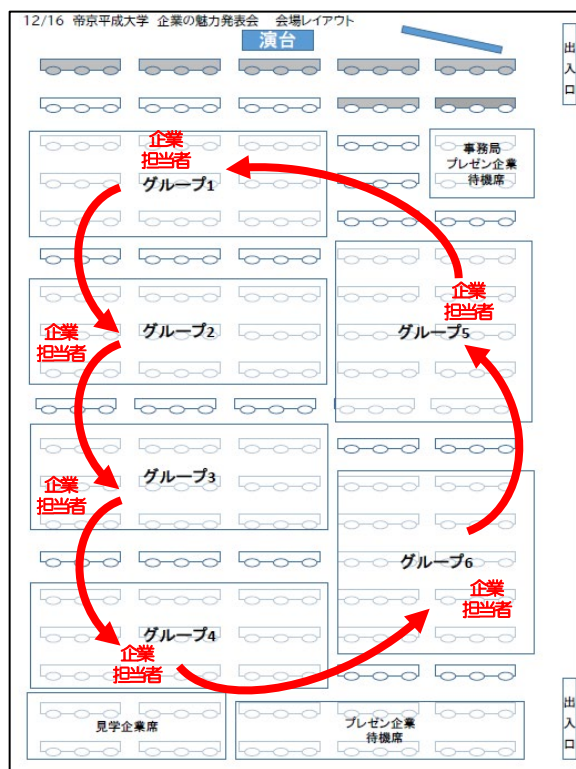


図8 本講座の座席表（千葉県商工会議所連合会作成 ※矢印は筆者追記）

⑤ クローズおよびアンケートの説明

交流会終了後、全体のまとめとして総括を行ったあと参加者アンケートの説明をした。

時間の関係で全体の簡単なおさらいと学習内容と提出物の確認にとどまったが、参加企業に対する感謝の気持ちを表し終了となった。

『企業の魅力発表会』アンケート(審査) フォーム☆帝京平成大学 12/16

このたびは「県内企業の魅力発表会」にご参加いただき、ありがとうございます。

実際の企業のプレゼンを聞いて、その感想を、下記にご入力ください。

※まずは帝京平成大学 総合情報技術センターの庄司が責任を持って個人情報をお預かりします。

その後、回答内容は企業へは匿名で報告いたしますので、ホッペを正直にご入力いただいで結構です。

回答する企業を選択

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 一般社団法人 市川市福祉公社 | 2. エヌテーアクアツインズ 株式会社 |
| 3. 株式会社 すいぱと | 4. 株式会社 さくら印刷 |
| 5. 新雪運輸 株式会社 | 6. 社会福祉法人 泉寿会 |

学籍番号を入力

◆企業プレゼンについて

Q1. プレゼンを聞いて、もっと詳しい話を聞いてみたいと思いましたが？

- 非常に思った ●少し思った ●どちらでもない ●あまり思わなかった ●全く思わなかった

その理由もご入力ください。

Q2. プレゼンを聞いて、印象に残った言葉を、できるだけ多く箇条書きで入力してください

Q3. ご自身が応募したいかどうかは別として、「会社に応募してほしい」という熱意は伝わりましたか？

- 大変伝わった ●少し伝わった ●普通 ●あまり伝わらなかった ●全く伝わらなかった

その理由もご入力ください。

Q4. ご自身の希望する会社(仕事)かどうかは別として、「発表した担当者のような人と一緒に働きたい」と思いましたか？

- 非常に思った ●少し思った ●どちらでもない ●あまり思わなかった ●全く思わなかった

その理由もご入力ください。

Q5. ご自身の希望する会社(仕事)がどうかは別として、その会社での「仕事のやりがい・おもしろさ」を具体的に感じることはできましたか？

- とても感じた ●まあまあ感じた ●あまり感じなかった ●全く感じなかった

その理由もご入力ください。
◆会社の魅力情報シートについて
Q6.シートの上段、カンパニーBOXのC1～C3で良かったものをお選びください?(複数回答可) カンパニーBOX については、配布の企業の魅力情報シートをご覧ください。また企業によっては、若干レイアウトが異なります。その場合は、次のその理由の欄に、どの記事が良かったかメモを入れてください。 ■C1 ■C2 ■C3
その理由もご入力ください。
Q7.シートの下段、ピープルBOXのP1～P6で良かったものをお選びください?(複数回答可) ■P1 ■P2 ■P3 ■P4 ■P5 ■P6
その理由もご入力ください。
◆全体を通して
Q8. 実際に就職活動が開始された時に、応募してみたいと思いましたが? ●是非応募したい ●前向きに検討したい ●応募するかどうかわからない ●応募したくない
その理由もご入力ください。
Q9. この企業が、企業実習(ジョブシャドウウイング・インターンシップ等)を実施すると告知した場合、興味はありますか? ●はい ●いいえ
Q10. (企業実習の告知がなかった場合であっても)今後のためにあなたの連絡先をお伝えしていいですか? ●はい → 後日企業の担当者からメールでインターンシップや就活時の会社説明会等の案内が届きます。 ●いいえ
お疲れ様でした!

表4 『企業の魅力発表会』アンケート設問文 (千葉県商工会議所連合会作成)



図9 参加企業との交流会の様子

5. 考察

(1) 本講座がキャリア教育上有効であった点

まず事前セミナーで十分に学んだ後の本講座であったため、学生の理解促進に寄与した。通常、セミナーやガイダンスも1回完結のものが多く、学生の理解度の問題だけでなく、事前学習を行う効果が高いのは実証済みである。とりわけ普段スポーツ科学分野を学んでいる学生にとってあまりなじみのない企業・業界も含まれたため今回の取組みは有益であった。それらが図4のアンケート結果のように現れたものと考えられる。後述するとおり2022年度も企業の魅力発表会を実施予定であるため、こうした事前学習の充実と本講座への有効な接続というものを十分に検討していきたい。

そして、本講座においては企業プレゼンを（コロナ禍でも）対面で直に聞くことができたことのほか、1社あたりのプレゼンが5分と、簡潔な内容を聞くことができたことも有益であった。学生にとって今まで慣れた学習形態である対面（教室）での授業でプレゼンをしていただくことで企業担当者の雰囲気や熱意も伝わり、より一層理解も深まった。

2020年度はフルオンラインの中オンデマンド環境でプレゼンPRビデオを配信したが多くの課題が残った。そこで2021年度は何としても多くの優良企業のプレゼンを聴講し、その後のインターンシップや本選考につなげたいというねらいがあった。

もちろんコロナ禍における就職活動ではオンラ

インセミナーやリモートによるガイダンス、オンライン面接などの慣れやスキルも必要になる。これは前述したとおり2021年前期に教室で部分的・限定的な形ではあったが体験できた。今後自宅等にいながら1人でも適切な環境でオンライン説明会等に参加できるようにスキルアップの講座も検討していきたい。

また1日で複数の企業プレゼンを聞くことができたことも大変有益であった。2020年の新型コロナウイルス感染拡大により対面でのガイダンス・セミナー等が制限されるなか、2021年にこのように対面で1度に複数の優良企業の参加による発表会を開催できたことは大変貴重なことである。もちろん本講座開催にあたり、千葉県商工会議所連合会からの感染対策の注意喚起のほか参加企業様の十分な理解と協力の下で安全に実施できたわけである。

そして一方通行での聴講だけでなく、審査を通して能動的な学習環境になったことも企業研究・業界研究を進める上で有効であった。とりわけ筆者が感じる点は、大学で多く見られるグループワークやディスカッションなどで教員による指示や環境によりアクティブ・ラーニング型授業が「表面的な学習」になってしまうことがあるということである。今回理想的なカタチでアクティブ・ラーニングを進められたことは大きな成果であった。すなわちプレゼン後にどのように審査するかを踏まえて集中してかつ主体的にプレゼンを聞く必要もあった。その後、学生側からの評価・フィードバックとして審査をするわけである。選択回答（評価）だけでなくその理由（自由記述）も入力するため、まさに主体的な学びとなった。そして「キャリア教育におけるアクティブ・ラーニング型授業の実践」という意味では見本となるような有効な事例となった。

本講座がキャリア教育上有効であった点として最後に、企業との交流会により普段大学では接点のない社会人や目上の方との交流の機会となったことである。大学授業内での交流・接点は、担当教員、あるいは職員、部活動、サークル関係者、日常生活では家族や友人、アルバイト先の関係者くらいであ

る。普段話すことのあまりない目上の方や社会人の方にプレゼンを聞くだけでなく、プレゼンへの質問や意見、その他思ったことを気軽に話せる機会となった。もちろん最初から学生のほうから話しかけることが難しいケースもあったがそこは企業側から声をかけていただくなど各配慮をしていただいたことで大学内にいながらも（授業内でありながらも）外部と接点を持つ大変有効な機会となった。

(2) 参加者アンケートからみる本講座

すべての内容終了後に、図 10 のとおり参加者アンケートを実施した。筆者も授業をとおして意識していることであるが、「その瞬間」の教育・学習が重要であることはいうまでもない。しかしそれが次へ（例えば後日のインターンシップや本選考）つながることが重要と考えている。もちろん本授業の大きな目的の1つは就職活動をしつかりと進めていくための知識・態度等の向上である。

アンケート「Q1. 各社の企業プレゼンを聞いて、今後の就職活動に参考になりましたか？」を確認すると、『大変参考になった』『少し参考になった』の2つの好意的な回答を合わせて83.8%と多くの学生に良好な結果となった。

また学生はキャリアプラン内で就職活動に関する各種ポータルサイトに登録し使用するが、その際の情報収集は大手企業に偏りがちである。授業内でも大手のみならず中小企業でも優れた商品やサービスを提供し魅力ある企業も多数あると指導しているが、なかなかそこまでたどりつけていない。しかし今回の有効な一連の取組みによって中小企業のイメージに対しても変化や成長が見られた。

すなわち、「Q2. 各社の企業プレゼンを聞いて、中小企業のイメージが変わりましたか？」を確認すると、『大変変わった』『少し変わった』の2つの好意的な回答を合わせて81.3%とこちらも多くの学生に前向きな結果となった。

そして社会人との接点や交流という貴重な機会となった「企業との交流会」の反応である。「Q3. 企業との交流会は、今後の就職活動の参考になりま

したか」によると、『大変参考になった』『少し参考になった』の2つの好意的な回答を合わせて83.8%と多くの学生にポジティブな結果となった。

(3) 成果と課題

最後に本講座の成果を再整理し課題を考察する。成果であるが、1つ目に、前述のとおり本講座によってコロナ禍でも学内で質の高い企業研究・業界研究の機会を得たということである。

2つ目に、受講（聴講）だけでなく、今回は「学生が企業を審査する」という主体的な学習行動を通して企業・業界の理解を深め、同時にキャリア形成に大きく寄与したということである。

3つ目に、外部との接点や交流という貴重な機会により、学生の気づきや就業意識を促すことができたということである。

4つ目に、本講座のみで終了ではなく、その後プレゼンを行った企業のインターンシップに参加したり、2022年度のキャリアプラン内でも講座で登壇していただくなど、さまざまな形で次につながるものとなった点である（同時に参加企業との関係も強化された）。

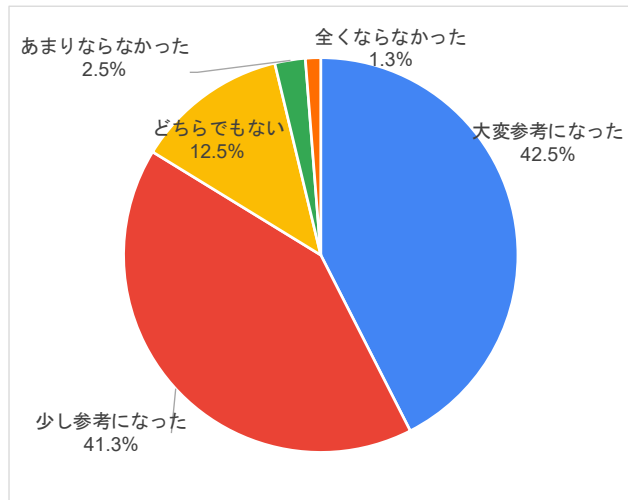
次に課題であるが、今回大変有意義なキャリア教育を実践できた一方、以下の課題も表出した（以下すべて担当教員の課題である）。

- 事前アナウンス不足のため学生の理解が不十分な箇所があった点。
- 当日スムーズに運営できなかった箇所があった点。そのため時間のロスが生まれた。
- アンケート回答方法の説明不足と操作サポートが不十分であった点。
- 事後につながるアナウンスが不足していた点。
- 事後の取組みの追跡調査が質量ともに不足していた点。
- 本講座取組み後、参加企業との連携が不足していた点。

細かい課題も含めるとこれ以外にも多数の課題が明らかになった。

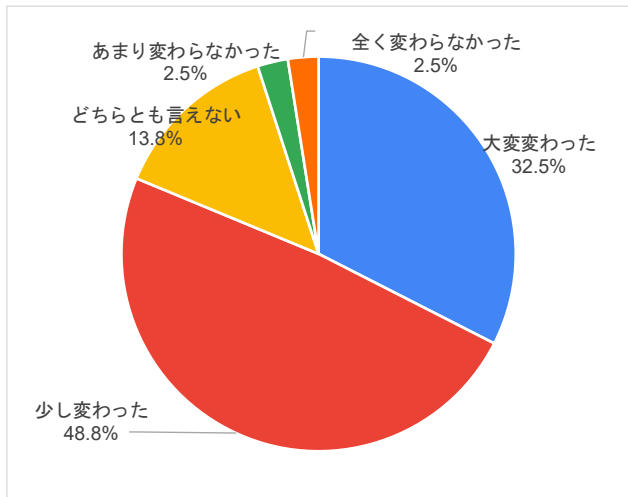
Q 1. 各社の企業プレゼンを聞いて、今後の就職活動に参考になりましたか？

大変参考になった	34	42.5%
少し参考になった	33	41.3%
どちらでもない	10	12.5%
あまりならなかった	2	2.5%
全くならなかった	1	1.3%
	80	



Q 2. 各社の企業プレゼンを聞いて、中小企業のイメージが変わりましたか？

大変変わった	26	32.5%
少し変わった	39	48.8%
どちらとも言えない	11	13.8%
あまり変わらなかった	2	2.5%
全く変わらなかった	2	2.5%
	80	



Q 3. 企業との交流会は、今後の就職活動の参考になりましたか。

大変参考になった	28	35.0%
少し参考になった	39	48.8%
どちらでもない	7	8.8%
あまりならなかった	4	5.0%
全くならなかった	2	2.5%
	80	

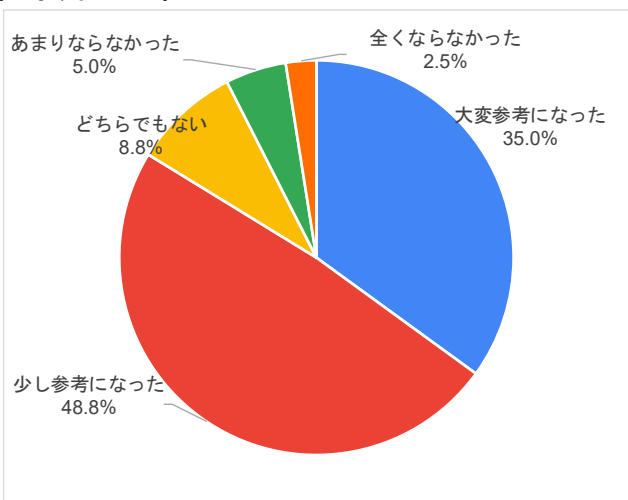


図10 参加者アンケート (Q1.~Q3.) の結果 (筆者作成)

6. おわりに

以上のとおり千葉県商工会議所連合会と連携した2021年度の企業の魅力発表会では多くの成果があった一方、主に教員の教育指導面での課題が残った。

2022年度も10月と12月に千葉県商工会議所連合会との連携授業を予定している。

今回の課題等を活かしより有効なキャリア教育となるよう努めていきたい。

【謝辞】

今回の企業の魅力発表会は、千葉県商工会議所連合会の関係者の皆様、千葉県のご担当者様、本講座でご登壇いただいた企業の皆様、本講座当日にご参加いただいた関係者の皆様のご協力ご支援の下で無事に実施することができました。

また本学就職支援室の皆様には事前調整や当日のご対応等で多大なご支援をいただきました。

この文面をお借りして深く御礼申し上げます。

参考文献

- 1 庄司一也：コロナ禍でのフルオンライン環境によるインターンシップの事前・事後指導と教育効果、私立大学情報教育協会「2021年度 ICT 利用による教育改善研究発表会」資料集、p.186、2021年。
- 2 庄司一也：さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした効果的なキャリア教育の実践、関西ベンチャー学会 第29回九州研究部会発表資料、p.6、2022年。
- 3 一般社団法人 千葉県商工会議所連合会 ホームページ 千葉県採用力向上サポートプロジェクト事業報告書『最終報告書2021』、p45. : <http://www.cfcci.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/07/4ff6ad41a27e2c2fe8e161badd766ced-1.pdf> (2022/8/20 アクセス) .